

わたしたちは日本国憲法第9条を堅持します

日本バプテスト連盟 憲法改悪を許さない私たちの共同アクション担当者会 声明

2022年2月24日、世界最大の軍事大国であるロシアによるウクライナへの武力侵攻という、驚愕の事態が勃発しました。この侵略戦争とも呼べるロシアの軍事侵攻により既に多くのウクライナ市民の犠牲者が出ており、また、数十万人を超えるウクライナ市民が国境を越えて避難を強いられています。

わたしたちは、このような事態を引き起こした軍事大国ロシアの行為を強く非難、1日も早く軍を撤退して戦争を止めることを訴えると共に、以下の通り憲法9条を堅持し、さらに全世界の国々にこの憲法9条の理念を拡げることが、ここに表明します。

1. 憲法9条は無意味な理想ではありません。

ロシアの進軍により日本国内では、憲法9条は無意味ではないかとの声が上がっていますが、軍事力を保有していたウクライナがロシアの侵攻を許したことは、逆に、「軍事力を持っていても強大な軍事力の前には役に立たない」ことを明らかにしています。

軍事力に対し軍事力で対抗することは、歯止めのない軍拡へとつながり、日本においても核兵器の保有に至るまでエスカレートする危険性が現実味を帯びています。実際に前総理大臣により「核シェアリング」という言葉まで飛び出しています。

唯一の被爆国である日本が「核兵器を保有・共有」するなどということは、あってはならないことであると、強く訴えます。

2. 憲法9条の理念を世界中へ

核兵器の悲惨さ凄絶さを身をもって知っている私たち日本人が核兵器保有に至ることは、「核兵器拡散」につながり、いつか破滅を招きよせるでしょう。

わたしたちは、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄します。憲法9条に示されているこの平和への理念を、さらに世界の国々に広げて行くことを求めます。

ひいては、陸海空軍その他の戦力を保持せず、国の交戦権を認めず、核兵器を初めとする強大な兵器を否定し、軍事力の廃絶を求めるものです。

3. 「戦争」に正義も、正当化できる理由もありません

今回のロシアによる軍事侵攻の「理由」の一つは、「国を守るために必要だった」ということでした。日本も同じ理由で過去にアジアを侵略し、またアメリカも同じ理由でイラク戦争を引き起こしました。そのためにどれだけの尊い生命が奪われたことでしょう。

「国を守るため」の「(核)抑止力」とは、自国の侵略行為を他国からとやかくいわせない(手出しさせない)ための暴力にしか過ぎないものであることが、今回のロシアによる軍事侵攻により正に白日の下にさらされたと言えます。

正義の「戦争」などはないし、「戦争」を起こす正当な理由などありません。

わたしたちは、人類の共通の理想として、憲法9条を堅持し、平和を希求することをここに表明します。

**「彼らは剣を打ち直して鋤とし 槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず
もはや戦うことを学ばない」(イザヤ書2章4-5節)**

2022年3月11日